



SNS(X) 開設中！

@jtsue_yamanashi

2025.9.25 No.3

駅で働く組合員からの声より

先日、駅組合員向けの意見交換会を開催し、職場の現状や今後の運動のあり方について意見を交わしました。組合員からは、

(職場の現状)

- ・駅でも要員が足りず、一人休んでしまうと休日出勤が発生する。
- ・駅での教育が不十分だ。例えば、出札や改札で教育する人が異動したため、他に教育をする人の担い手づくりで苦慮している。人事が職場の教育計画をしっかりと立てるべきだ。
- ・上期と下期で担当副長と面談を受けるが、兼務が多くなり、担当副長と一緒に仕事をする機会が減っている。そのような時にどう社員を評価するのか？
- ・兼務社員が増えているならば、制服、ロッカーを増やすべきだ。
- ・労働者代表者（過半数代表者）が統括センター全体で1名であり、各勤務箇所から意見を直接出したいが、どのように出せば良いのかわからない。労働者代表者（過半数代表者）は「運輸」「駅」といった各勤務箇所から出せないのか？
- ・指定席券売機は誰もがわかりやすい画面にしなければ、窓口の混雑解消につながらない。

(今後の運動のあり方)

- ・「乗務員」と「駅」組合員が一つにまとまって、運動をつくれば、普段からの会話を築いていける。
- ・集まりやすいのは「レク」だ。様々な「レク」を使って、集まる場をつくっていききたい。
- ・直接会って話すということを大切にしたい。
- ・普段の会話やコミュニケーションが大切だ。

といった声があがりました。

山梨支部は今後も地本、分会と連携をとりながら、様々なことを模索しながら、輸送サービス労組運動をつくっていきます！



普段からの仲間との会話を通じて、
輸送サービス労組運動をつくっていきましょう！

